

令和4年度

学校要覧



東京都墨田区立堅川中学校

〒130-0014 東京都墨田区亀沢4-11-15 (錦糸町駅下車徒歩約12分)

TEL 03-(3625)0365

FAX 03-(3625)1494

沿革の概要

- 昭和22.4.1 設立認可
- 22.4.19 榎島徳次校長(初代)就任
- 22.5.5 墨田区立中和小学校校舎の一部で開校式
- 24.12.20 独立校舎(第1期)竣工
- 30.4.25 心身障害学級設置
- 31.11.1 渡辺平太郎校長(第2代)就任
- 32.5.10 校旗制定〔5月10日開校記念日〕
- 33.3.25 墨田区立旧本所小学校校舎に移転(現在地)
- 39.4.1 稲葉茂校長(第3代)就任
- 41.1.25 墨田区教育委員会研究指定技術科研究発表
- 42.5.10 開校20周年記念式典挙行
- 43.1.25 墨田区教育委員会研究指定理科研究発表
- 43.4.1 田中忠男校長(第4代)就任
- 44.2.10 完全給食開始
- 48.4.1 大津正夫校長(第5代)就任
- 50.4.1 梅田八郎校長(第6代)就任
- 52.4.1 箭本仁校長(第7代)就任
- 52.7.18 開校30周年校舎落成記念式典挙行
- 55.4.1 細野紀郎校長(第8代)就任
- 59.3.30 全館空調施設完成
- 59.4.1 本多太郎校長(第9代)就任
- 61.4.1 喜多村千秋校長(第10代)就任
- 63.4.26 開校40周年・プール・格技室完成記念式典挙行
- 平成2.4.1 菅谷光顯校長(第11代)就任
- 2.11.20 ガイダンスルーム完成
- 4.2.28 コンピュータルーム完成
- 5.2.9 開校45周年記念式典挙行
- 6.4.1 河原敏子校長(第12代)就任
- 9.11.11 開校50周年記念式典挙行
- 10.4.1 渡部昭校長(第13代)就任
- 14.2.16 墨田区特色ある学校づくり推進研究中間発表
- 14.4.1 前田武男校長(第14代)就任



教育目標

- ・ゆたかな心 <やさしく>
- ・ひろい知性 <かしこく>
- ・すこやかな身体 <たくましく>

- 14.11.15 開校55周年記念式典挙行
- 15.2.14 墨田区特色ある学校づくり推進研究発表
- 15.9.1 熊谷伸賢校長(第15代)就任
- 17.3.18 校庭南側防球ネット完成
- 18.8~10 耐震補強・空調設備・トイレ等全面改修
- 19.11.9 開校60周年記念式典挙行
- 20.4.1 根深得英校長(第16代)就任
- 21.2.4 墨田区特色ある学校づくり推進研究発表
- 21.4.1 幼小中一貫教育推進校(パイロット校)
- 23.4.1 原田徹校長(第17代)就任
- 23.4.1 東京都言語能力向上推進校指定(3年間)
- 24.4.1 墨田区教育委員会研究協力校指定(2年間)
- 25.4.1 西村均校長(第18代)就任
- 25.11.29 東京都言語能力向上推進校研究発表
- 28.4.1 入学生より新標準服に移行
- 28.4.1 東京都道徳教育推進拠点校(2年間)
- 29.4.1 特色ある学校づくり推進校
- 29.4.1 学力向上のためのマネジメント推進校
- 29.11.11 開校70周年記念式典挙行
- 30.4.1 織部明広校長(第19代)就任
- 30.4.1 東京都道徳教育推進拠点校(3年目)
- 30.4.1 学力向上のためのマネジメント推進校(2年目)
- 令和元.8.31 防火シャッター・屋上改修、体育館エアコン設置
- 2.3.2 新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休業始
- 2.4.1 墨田区教育委員会研究協力校指定(2年間)
- 2.6.1 学校再開(分割、分散、時差登校)
- 2.8.1~23 短縮夏休み
- 3.12.17 墨田区教育委員会研究指定研究発表
- 4.3.18 第75回卒業式 卒業生総数14,361人
- 4.5.28 第76回運動会(各学年別)
- 4.9.6~8 修学旅行(広島・京都)

【校名由来・立地】

「堅川」は墨田の由緒ある地名です。江戸城から見て堅(たて)の川という由来のある堅川は、万治2年(1659年)から造られた掘り割りで、鬼平も愛したとされています。北斎通り沿いにあり、葛飾北斎や勝海舟・山岡鉄舟などの旧居跡近く、歴史的なゆかりの地に堅川中学校は建てられています。

【校章の由来】

(昭和22年4月19日制定)

校章は創立時の初代榎島徳次校長によるもので、堅中の字のところは窓をあらわし、その窓のまわりは雪の結晶をあらわしている。つまり、堅中の校章は、無言のうちに蛍の光、窓の雪をシンボライズしているのである。校章の精神を生かして欲しいものだ。

(昭和23年5月10日堅中報道部発行「THE YAKUSHIN(躍進)」新聞より)

『螢雪の功』とは中国古代(4世紀半ば頃の晋)の故事「貧しくて灯油が買えなかった書生、車胤(シャイン)が螢の光を集め、また、孫康(ソンコウ)が雪明かりに頼って、読書にいそんだこと」に由来する。苦学して目的の試験に合格したり、無事卒業することの意。

校歌

一、紫匂う武蔵の東
 聳ゆる学び舎希望にもえて
 清き流れの隅田川
 朝な夕なにいそしまん

二、富士の白雪筑波の緑
 ゆるき流れの堅川の
 学びの窓より仰ぎて常に
 清く明るくつとめなん

三、潮の満干にかもめが群れて
 誇る文化を涯しなき野に
 いざもろとも織り出でん

校歌
 伊達 榎島
 龍雄 徳次
 作曲 作詞

